

令和4年度 第1回 瑞浪市窯業技術研究所運営委員会

日 時：令和4年4月12日 10時から11時まで

場 所：瑞浪市産業振興センター 3階 大会議室

出席者：委 員 塚本哲也（委員長）、足立公子（副委員長）、三浦彰治郎、水野安喜、
和田 孝、加藤明代、中山恭平、日置哲也、辻井武蔵、手島 敦

瑞浪市長 水野光二

事 務 局 三浦正二郎（商工課長兼窯業技術研究所長）

安齋 久嗣（所長補佐兼技術開発係長）

大野万里子（所長補佐兼管理係長）

開 会

事務局 定刻になりましたので、ただ今より令和4年度 第1回瑞浪市窯業技術研究所運営委員会を始めさせていただきます。

本日の運営委員会の開催にあたりお席の間隔や換気、消毒液の設置など新型コロナ感染予防対策を取らせて頂いております。また本運営委員会は公開の対象となっておりますので、傍聴席を設けております。ご承知おきください。

申し遅れましたが、わたくしは本日の司会進行を務めさせていただきます、瑞浪市窯業技術研究所長の三浦と申します。どうぞよろしくお願い致します。それでは、始めにお手元の資料のご説明をさせていただきます。今年は2年任期である運営委員の最初の委員会でありますので、本来であれば水野市長からお一人お一人に委嘱させて頂くものでは有りますが、コロナ対策として時間短縮の為、お手元に委嘱状をお配りしてありますのでよろしくお願い致します。1枚めくって頂きますと、本日の運営委員会の次第がございます。次に運営委員名簿がございます。次に、もう1枚めくって頂きますとホチキス止めしてあります「資料1」と書かれた資料が一式ございます。その次に、同じくホチキス止めしてありますカラーの別紙資料が一式ございます。その他にちらし等を配布させていただきましたが、資料などの過不足などよろしかったでしょうか。

それでは次に会議の成立についてのご報告させていただきます。委員会規則の第4条2項の規定により本日10名中10名のご出席を頂いておりますので、本会議が成立していることをご報告いたします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。はじめに瑞浪市長よりあいさつを申し上げます。

1. 市長あいさつ

市 長 皆さんおはようございます。委員の皆様には全員お集まりいただきありがとうございます。まずは長年、窯業技術研究所の運営委員を務めていただいた3名の方が勇退されました。ほんとうに長い間お世話になりました。感謝申し上げます。山和陶業株式会社の田口典宏さん、株式会社深山の松崎捷也さん、元瑞浪市窯業

技術研究所所長で陶芸家の河口建喜さん、以上の3名の方々が15年、20年にわたり運営委員をお務めいただきまして、窯業技術研究所の発展や陶磁器業界のお役に立つような窯業技術研究所の運営に対してご提言をいただきまして本当に感謝申し上げたいと思います。お陰様で研究所は着々と事業を進めて来ることができました。改めてお礼にお伺いさせていただきたいと思っております。

また、新しく今年度から運営委員になられました手島敦委員と辻井武蔵委員のお二人に対しましては、それぞれの経験を生かしていただきまして更に研究所の運営が発展していきますようにご提言やご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

運営委員の皆様方には2年間の任期としてお務めいただきたいと思っております。後ほどいろいろ説明させていただきますが運営委員会の役割として窯業技術研究所の附属機関と位置付けさせていただいております。委員の皆様のお力をお借りしながら窯業技術研究所がより良い施設となるようご指導いただくとなっておりますので、忌たんのないご意見やご提言をよろしく願いいたします。

以前は1階と2階を窯業技術研究所として使っておりましたが、昨年2階に集約させていただきました。また、様々な検査をしておりましたが、あまり依頼のない検査は見直しをさせていただきました。

1階部分については今年の4月1日から観光協会の事務所として活用しています。事務局長と職員1名の2名体制ですが地域の陶磁器産業活性化のためにも観光の振興と密接な関係があるのではないかと思います。多くの方々に瑞浪に来ていただいて美味しい食材をお買い求めいただく、そして食事して頂くと同時に陶磁器にも触れていただいて瑞浪で生産されている、素晴らしいデザイン性の高い品質の良い陶磁器をお買い求めいただくことに繋げていく為にも観光協会は大切ではないかと思いましたので、この施設の中に事務所を置かせていただくことになりました。これから観光協会の活動も活発化させて行こうと思っております。

今業界はコロナ、コロナで厳しい状況であることは市としても承知しておりますけれども、アフターコロナの為にも業界の皆さんと一緒に地場産業であります陶磁器産業を世界へ発信していけるようにして行きたいと思っておりますのでお力添えをお願いいたします。それでは2年間大変お世話になりますけれどもよろしく願いいたします。

2. 運営委員より自己紹介

事務局 続きまして運営委員の自己紹介に移ります。本日初めて顔を合わせる方も見えますので名簿順に自己紹介をお願い致します。

各運営委員より自己紹介を行う。

3. 委員長、副委員長の選任について

事務局 委員長、副委員長の選任について、あらかじめ事務局案をご用意させていただきましたのでご意見など頂ければと思います。

委員長に瑞浪陶磁器工業協同組合理事長の塚本委員、副委員長に岐阜県陶磁器デザイナー協会会長の足立委員を推薦したいと思いますが、委員の皆さまのご意見はいかがでしょうか。

「異議なし」のお声を頂きました。

それでは委員長候補の塚本委員いかがでしょうか。

塚本委員 はい、務めさせていただきます。

事務局 それでは委員長は塚本委員ということでよろしく願いいたします。委員長におかれましては、この後の議事進行の際に一言あいさつをお願いいたします。続きまして副委員長候補の足立委員いかがでしょうか。

足立委員 はい、よろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは副委員長は足立委員をお願いいたします。

4. 議題

事務局 それでは、議事を進めさせていただきます。議事の進行につきましては規則により委員長が議長を務めると規定されております。最初に委員長就任のあいさつをいただきまして議事の進行をお願いいたします。

議長 委員長を仰せつかりましたので、微力ではありますが窯業技術研究所並びに陶磁器業界が発展するよう尽力して参りますのでよろしく願いいたします。決まりにより議長を務めさせていただきますが、なにぶん不慣れなため皆様のご協力をお願いします。

それでは議事に入ります。「議題（１）令和３年度事業報告について」事務局より説明をお願いします。

事務局より令和３年度事業報告 資料１ について説明。

議長 ご質問等ございましたらお願いします。

委員 令和３年度の市内の依頼試験と試作の内訳はどうなっていますか。

事務局 市内事業者からの９９８点の依頼試験と試作の内訳については、依頼試験は９５５点になります。依頼試作の方は４３点になります。

議長 ほかに何かよろしいでしょうか。無いようでしたらご承認をいただける方は拍手をお願いします。

拍手多数により議題（１）は承認されました。

次の議題に移ります。「議題（２）令和４年度事業計画について」事務局より説明をお願いします。

事務局より令和４年度事業計画 資料２ について説明。

議 長 令和４年度事業計画についてご意見やご質問等ありましたらお願いします。

委 員 食器デザイン展は市内全校ですか。

事務局 市内の小学校、中学校の全校です。

委 員 片寄りはありませんか。

事務局 片寄りはなくて、およそ７割～８割の児童生徒さんから応募があります。

委 員 地域の片寄りはありませんか。

事務局 地域の片寄りは無いです。陶の方々もほぼ８割９割の方が参加されています。

事務局 学校でも協力的に授業で取り入れていただいて、もう２７回を数え、浸透していることもあり、ご家族の方も今年もあるね、応募してみようねと協力的に取り組んでいただいております。

議 長 他に何かありませんか。

市 長 グリーンライフ２１のプロジェクトは順調に進んでいますか。世界的にリサイクル、環境問題、SDGsなどで限られた資源の有効活用というテーマがあるのですが、もっともっと全国的に展開していかないかなと思うのですけれども。

事務局 今、瑞浪の３つのメーカーさんが中心になって進めておりまして、瑞浪の企業の参加も会の割合からしましても多くなってきております。若手の社長さんも参加しておりまして、リサイクル粘土をブランド化したらどうかとか、グリーンライフ２１プロジェクトのホームページ自体を更新していったらどうかとか新しい意見も入ってきていますので、今後発展していくような感じはしております。

市 長 リサイクル粘土を広く一般に入手することは出来るのですか。

事務局 市場に出回ったものを回収して粉碎してバージンな粘土に混ぜるという取り組みなのですが、今「Re20」と「Re50」というリサイクル原料を２割または５割混ぜた２種類の粘土が開発され製品化しているのですが、業界全体に徐々に

リサイクル粘土を使った製品になっていくといった流れになっていくのではないかと思います。

市 長 原料を作っているのはどこのメーカーさんですか。

事務局 回収した食器を土岐市の神明リフラックスさんで粉砕をして、多治見市のヤマカ陶料さんで粘土にしています。ただ、瑞浪市の稲津町の粘土屋さんもリサイクル原料を使った粘土を開発中と聞きいています。神明リフラックスさんから原料を仕入れて陶芸家さん向けのリサイクル粘土を開発中との事です。

市 長 どこの粘土屋さんですか。

事務局 白山陶料さんです。

市 長 陶磁器食器の回収はどうしているのか。市場に出た食器を回収しないといけないけれども、その回収のシステムは。

事務局 近隣市で言いますと、多治見市では市が家庭で出た陶磁器食器を資源ごみとして回収しています。瑞浪市は不燃物として処分しています。

委 員 それは資源ごみとして回収するところがまだできてないということですか。

事務局 そうです。リサイクルされていないのが現状ですけども、11月に環境課が環境フェアを企画しておりまして、その時に食器の回収を計画していると聞いております。

市 長 多治見市だけではなく、土岐市、瑞浪市も陶磁器産業に関係のある自治体ですので、それは3市あげてやらなくてはいけない課題ですので、考えていただきたい。

議 長 グリーンライフ21は歴史があるのですけれども、割と停滞していた時期もあったのですが、世の中のSDGsの流れもあって今年の見本市でも商社からその取り組みについての問い合わせが結構ありました。これから大きく可能性があるので進めていただきたいと思います。

他に何かご質問等ございますか。無いようでしたらご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

拍手多数により本議題は承認されました。

議題1、2については全て承認されました。皆様のご協力によりスムーズな進行となりました、ありがとうございました。

事務局 塚本委員長スムーズな議事進行をありがとうございました。

5. その他

事務局 折角の機会ですので何かご意見やご質問などあればお願い致します。

先ほどお話に出ました市内事業者さんの50%減免については、令和2年の10月1日から始まっておりまして、半年ごと市内事業者さんの状況、コロナの状況を鑑みて延長、延長と言うところで9月30日までになりました。また近い状況になってから景気が好転していなければ引き続き延長と言うことも検討してまいりますのでよろしく願いいたします。また、この場で無くても疑問なところ、ご意見等ありましたら事務局までお願いいたします。

事務局 研究所では業界の皆さんからご意見、ご要望を聞いて支援に繋げて行きたいと考えておりまして、先日恵那陶工の組合員の皆さんと会合のあったときにお話を聞く機会を設けさせていただきました。4月27日に瑞陶工さんの会合にお邪魔してお話を聞く機会を予定しております。それ以降、瑞陶商さん、石膏組合さん、粘土屋さん、陶芸作家さんなどと会合がある機会に研究所の紹介、皆さんのご要望などを広くお聞きしまして、研究所の活動や業界支援に役立てて行きたいと考えておりますのでその際にはご協力お願いいたします。

事務局 些細な事でも、ちょっと相談に乗ってほしいと言うことでも構いませんので是非ご相談いただいて、いろいろなところとネットワークもごございますので活用していただければと思います。また、先ほど令和4年度の事業計画にもございましたが組合員さんにこちらからも周知させていただきますが、積極的な講座への出席ですとか技術的な支援というところでお役に立ちたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

それでは、これをもちまして令和4年度 第1回瑞浪市窯業技術研究所運営委員会を閉会いたします。本日はお忙しところ誠にありがとうございました。